

Service

Distribution

6th of series
高大接続探究学習ワークショップ

高校生 × 大学生

ビジネスをUP DATE

サービスの分析から、 ファストフードの「今」を考える

消費者が「また行きたくなる」空間とは？

地域活性化のヒントは、「サービス」にある？

広告がないのに、なんでアノお店は集客できてるの？

2021.12.5 SUN

13:00~16:00

場 所:中村学園大学 4号館 6階 4603教室

参加人数:最大30名(要事前予約)

※定員以上の申し込みがあった場合は、事前予約締め切り後、抽選を行い、参加者を確定します。

対 象:「ビジネス」「生活・暮らし」「経済成長」「地域創生」「サービス」
「観光」「消費者行動・心理」などに関心をもっている高校生

持 参 物:筆記用具

内 容:本学の教員・学生が、皆さんの学びをフォローします。講義やグループワークを中心としたワークショップです。今回は、皆さんが気軽に利用している「ファストフード」を題材に、顧客の行動を分析し、サービスの仕組みを学びます。

NAKAMURA GAKUEN University

Business

 中村学園大学



◀事前予約はこちらから
事前予約受付期間
11/1(月)10:00から
11/19(金)まで

ビジネスをUP DATE

私たちが気軽に利用しているファストフード。あまり不満を感じることはありませんが、サービスを分析すると「ここを改善したらもっと利用しやすくなるのでは？快適に利用できるのでは？」という改善ポイントが見つかるのかもしれません。今回のワークショップでは「サービス・ブループリント」というサービスの分析手法を用いてサービスのプロセスを視覚化し、満足、あるいは不満足や苦情がどこから生まれるのかを浅岡ゼミの大学生と一緒に分析し、対応策を考えます。



今回のワークショップで教えてくれるのは



流通科学部

浅岡 由美 教授

Profile

立教大学大学院経営学研究科博士後期課程修了、博士(経営学)。2020年から大学院流通科学研究科長を務める。専門はサービス・マーケティング。サービスの品質向上と人材育成、小売業や外食産業などのグローバル展開、観光による地域活性化に関する調査や研究に従事。授業では「サービス・マーケティング」「産業・組織心理学」などを担当。著書として『サービス・マーケティング、サービスのデザインと分析』(セドナ、2021)など。

●高大接続探究学習ワークショップイメージ



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



※SDGsとは…?

2015年9月の国連サミットで採択された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な社会をつくるために、17の目標と169のターゲットがあり、発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むもので、日本も取り組んでいます。

中村学園大学が、皆さんの学びをフォローアップします。

大学生と高校生が、ともに学ぶ中で様々な課題を発見し、考察・発表することで、問題解決能力・自己表現力を育成する。自らが生活する地域の課題に興味・関心を持つことで、将来、地域に貢献できる人材を育成することを目的としたワークショップです。ぜひ、中村学園大学と一緒に、「ビジネス」の知識をアップデートしませんか？高校生の皆様のご参加お待ちしております。

過去開催したワークショップの様子を見たい方はこちら



新型コロナウイルス感染症の感染対策をいたうえで実施します。

